

社協だより **しんぱ**



2017.11.15
第76号

買い物支援事業
(中津江村 鯛生地区)

目次

次

- 買い物支援事業をスタート…… P 2
- 社協会費納入のお礼……… P 3
- 市民健康福祉まつり……… P 4
- 支援レポート・寄り合いサロン… P 5
- 歳末たすけあい運動・人材バンク… P 6
- 歳末たすけあいチャリティーショー… P 7
- 寄付のお礼・掲示板……… P 8

買い物物支援事業をスタート



日田市社会福祉協議会は、買い物等に困っている方々を支援するため、移動販売業者と協力し、10月から買い物支援を開始しました。

▼「買い物支援」高まる必要性

過疎化が進行する地域では、身近な個人商店の廃業などで買い物に困っている住民が増加しつつあります。

頼りとなる移動販売業者も高齢化・仕入の間・長時間に及ぶ運転など、労力的な課題を抱え、なかなか、山間部の集落まで行けないという課題があります。

こうした中、両者のニーズを調整することで、住民は買い物、業者も継続した営業が出来るようになります。

今回、モデル的に取り組みを始めた事業をご紹介します。



食品から日用品まで様々な商品を揃えています

中津江村鯛生地区
中津江村の南西に位置し熊本県菊池市に隣接する地区
人口108人 60世帯
高齢化率54%
(9月30日現在)
10年程前から地域内に商店は無い

▼中津江村鯛生地区での取組

鯛生地区では、10年ほど前に地域内の商店が廃業し、唯一、頼りにしていた移動販売車も8年程前から来なくなりました。

住民は栃原地区まで買い物に出たり、仕事や通院のタイミングで、熊本県の小国町や菊池市まで、足をのびさなければなりません。

近頃は高齢で車の運転が出来ない方も多く、買い物が必要な際は、親族や知人等に頼るなど、自分で自由に選んで買物をする事が出来ないといった不自由さを感じ



じていました。

▼選んで買物出来る喜び

今回の買い物支援事業は、住民が集まりやすい日時や場所と、移動販売に伴う費用対効果を社協が調整することで実現しました。地域の方からは「自分で選べるので大変うれしいです」「新鮮食品や日用品も買えるので助かります」

「自動車免許を返納して買い物に困っていたところ、す」など喜びの声を聞くことが出来ました。

この事業は高齢者等の見守りとしても機能しており、福祉委員、民生児童委員等との連携を図りながら、推進していきます。

日田市社会福祉協議会

会費納入のお礼

本年度も日田市社会福祉協議会の会費にご協力をお願いしましたところ、多くの皆様にご賛同いただき、誠にありがとうございます。

心からお礼を申し上げますとともに、お取りまとめいただきました自治会、地区社会福祉協議会、関係者の皆様方に深く感謝申し上げます。

お寄せいただきました会費は、日田市社会福祉協議会が取り組む地域福祉事業に充てられるほか、市内20の地区社会福祉協議会が実践する福祉活動の財源として、活用させていただきます。

今後とも、会費の趣旨をご理解いただき、日田市社会福祉協議会・地区社会福祉協議会の活動に対し、温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

◇「地域福祉活動」は、住民同士が相互に支え合うまちづくりの基礎となります



手から手へ心を届ける
三花地区社協配食サービス事業



孤立の解消や仲間づくりの時間
東有田地区社協会食交流会事業

会費は、各地区が必要としている「地域福祉活動」事業に充てられています

日田市社協の理念

みんながつながり支え合えるまちをめざして

日田市社会福祉協議会は、私たち自身も住民の一人として、福祉制度や福祉サービスなどで解決できない福祉課題をしっかりとキャッチし、地域福祉活動につなげていきます。

●主な役割として

- ①地域組織化（地区社協活動の支援）
- ②独自性と協働性
（地域住民、ボランティア団体、NPO、行政との役割分担と協働システム）
- ③小地域福祉活動
（集落や班といった小地域での支え合い活動の推進）
- ④福祉課題への支援（制度のはざ間にある課題への対応）
- ⑤地域に根ざした事業展開など



『日田市社会福祉協議会』は、社会福祉法109条で「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と位置付けられた**非営利の民間団体**です。

地域の福祉課題を解決していく事業を実施したり、地域での福祉活動を支援します。

会員は日田市に住む住民皆様です。行政や関係団体、企業などと一体となって地域福祉の充実をめざし、福祉サービスの充実やお互いさまといえるまちづくりをお手伝いします。

第21回市民健康福祉まつり・市民後見セミナーを開催！

●第21回市民健康福祉まつり

10月8日、パトリア日田及び中央公園にて、「市民健康福祉まつり」が開催されました。当日は晴天に恵まれ、多くの来場者で会場は賑わいました。

式典では、社会福祉及び保健事業の増進に貢献された方々や、長寿の方々、市民健康福祉まつりのポスター展の表彰等が行なわれました。

また、パトリア日田内では、高齢者・障がい者・園児の作品展、介護・医療に関する相談コーナー、健康チェック・歯科検診や、作業療法体験、調剤体験、介護ロボットへの展示やおもちゃ病院、介護教室など、子どもから大人まで楽しめる様々なイベントが実施されました。

今年も大盛況



特別寄付者表彰を受ける
日田天領歌謡会
代表原田琢也さん



赤い羽根共同募金運動のPRのため、街頭募金を実施（昭和学園高校生徒、ひた福祉就労センター）

中央公園では、市内障がい者事業所等による福祉生産品の販売や、やきそば、ヤキトリなどの出店、献血や別府大学の学生による「健康戦隊ゲンエンジャー」のショーが行われました。

福祉・保健・医療に楽しみながら接する良い機会となったようです。

●市民後見セミナー

市民健康福祉まつりと同時に市民後見セミナーを開催しました。

近年、認知症高齢者の増加や障がい者の親亡き後が、社会的な課題として取り上げられています。認知症や障害などの要因で判断能力が不十分な方を社会で支えていく方法の1つとして、「成年後見制度」に注目が集まっています。そこで今回、地域の方々へ制度の理解と普及を目的とし本セミナーを開催しました。



介護ロボットを楽しく体験

セミナーでは講師として太閤法律事務所（豊後高田市）の初倉了胤先生を迎え、「これからの社会を支える成年後見制度」と題し、講演を頂きました。

講演では制度の概要と現況、制度の担い手となる成年後見人の職務等についてわかりやすく説明して頂きました。参加者からは、「制度の内容を理解することができた」「今後高齢者が増加していくなか、制度の必要性を感じた」などの声が聞かれ、社協としてもさらに、制度の普及促進に取り組んでいきたいと考えています。



災害ボランティアセンター

県南地域に職員を派遣

運営支援レポート

7月の九州北部豪雨災害から2カ月、災禍の記憶も冷めないうちに、9月17日台風18号が県南地域に大きな爪跡を残しました。

日田市社会福祉協議会では、今回の台風災害でも、津久見市と臼杵市の災害ボランティアセンターに職員を派遣しました。



津久見市の被害状況

(平成29年10月11日現在)

全壊、半壊 309棟
一部損壊、床上・床下浸水 1,221棟

災害ボランティアセンターとは？

災害時に被災地に設置される災害ボランティア活動を円滑に進めるための拠点です。

社会福祉協議会や行政等が共同して設置し、ニーズの把握やボランティアの受入、資器材の貸し出しや情報提供活動の実施を支援します。

津久見市中心部では、河川の氾濫によって家屋内の浸水被害が多く発生しました。また、中心部より少し離れた沿岸の地域では、背後に急傾斜地の山を抱えていることから、崖崩れ等による大きな被害も見られました。

さらに雨と、満潮時間帯とが重なったことで被害が拡大したようです。被害の大小にかかわらず、自然の脅威に、どのように対応していくかということを考えて考えさせられました。

自然災害は、想定外で防ぎようのないものですが、人と人がつながることで、まちは元の姿を取り戻すことができます。社会福祉協議会では、支援体制づくりの先頭に立ち、防災や生活を支援できるように取り組んでいきます。

身近なサロンを目指して

本庄町寄り合いサロン

日隈地区本庄町において立ち上がった寄り合いサロンを訪問しました。

●身近な公民館での活動

毎月1回、本庄町公民館において、町内にお住まいの方を対象としたサロンを行っています。

健康運動や工作など、誰でも気軽に行える活動を取り入れ、難しくすぎず簡単すぎないように工夫されています。

この日は、クラフトを用いてクリスマスリース作りに取り組んでいました。先生に教わりながら、地域の方や民生委員さん、福祉委員さんがおしゃべりをしながら楽しく活動する様子が伺えました。



完成したクリスマスリース



●サロンについて

サロンの運営は、民生委員と福祉委員が協力して行っています。原田千鶴さん(本庄町民生委員)は、「自分の住む地域で、誰でも気軽に立ち寄れるサロンをつくりたい」と思い、立ち上げました」と語ります。

立ち上げにあたり、自治会長や老人会長などと会合を開き、内容や時間などの協議を重ね、今年6月にサロンを始めました。原田さんは「今後、まだサロンに来られていない方や、一人暮らしの方、男性にも参加してほしい。ちょっと顔を見に来る程度でもいいので、気軽に立ち寄れて、月に1度の楽しい意見交換の場にしていきたい。」と話していました

サロンには地域のつながり作りや閉じこもり防止など、様々な機能があります。今後は本庄町寄り合いサロンを中心に、みんなで支え合う地域になることを期待しています。

始まります!!

平成29年度地域歳末たすけあい運動

▶運動スローガン「つながり ささえあう みんなの地域づくり」

「地域歳末たすけあい運動」は、赤い羽根共同募金運動の一環です。

地域住民やボランティアなど、皆さんの協力のもと、地域で安心して暮らすことができるよう、住民の参加や理解を得てさまざまな福祉活動を重点的に展開するものです。



12月1日金から
1か月間



日田市内では、この期間に地域のお祭りやイベント、商店や駅前などで、学生や関係機関、団体などの募金ボランティアによる街頭募金活動が行われます。多くの皆さんの「やさしい思い」は市内の福祉活動の財源として、活用されます。

日田市災害ボランティアセンターの運営費にも赤い羽根共同募金が活用されました

赤い羽根共同募金に寄せられる募金の一部は、全国で開設する災害ボランティアセンターの運営にも役立てられています。

今回、日田市災害ボランティアセンターでは、一輪車や土のう袋といった資機材の購入やプレハブの設置、車輛等のリースなど661万4,700円の経費が発生しました。

このうち「共同募金災害支援金」として561万4,700円の助成を受け、運営を行いました。

福祉の仕事を希望する皆さん福祉人材バンクをご存知ですか？

自分の能力と意欲を発揮できる職場を紹介します。求職登録に来所ください。

社会福祉施設・事業所の求人情報を提供し、就職相談に応じるとともに人材の登録を行い、人材を必要とする社会福祉施設・事業所等に紹介・斡旋します。

ご紹介できる職種は？

- ・介護職員
- ・保育士
- ・看護師
- ・相談員
- ・支援員
- ・指導員
- ・ホームヘルパー
- ・栄養士
- ・介護支援専門員
- ・調理師・調理員
- ・理学療法士
- ・作業療法士
- ・事務員等

ご紹介できる福祉施設は？

- ・高齢者福祉施設
- ・母子福祉施設
- ・障がい者福祉施設
- ・社会福祉協議会
- ・子ども園・保育園
- ・介護保険事業所
- ・幼稚園
- ・その他



*福祉人材バンクの利用方法

福祉人材バンクは、日田市社会福祉協議会内に設置されており、随時、相談を受け付けています。また、毎週火曜日には、ハローワーク日田で、出張相談も行っています。福祉の仕事内容や資格取得方法、必要とされている人材など、広く相談をお受けしていますので、お気軽にご利用ください。

【お問合せ】

日田市福祉人材バンク
(日田市社会福祉協議会内)
担当・岩田 ☎24-7026

日田会場・大山会場 2カ所同時開催!!

平成29年12月2日(土)

「歳末たすけあいチャリティーショー」は、赤い羽根共同募金運動をPRすると共に、ショーを行うことで得られた益金を、新年を迎えるにあたり、支援を必要とする人たちへ、市内20地区社協が行う「歳末たすけあい事業」を通して配分されます。

第22回

歳末たすけあい チャリティーショー



市民団体による
チャリティーショーは
13:00～



毎年大好評!!
お楽しみ抽選会
ショーの最後に、ご協賛
いただいた商品の
大抽選会を行います。

大盛況!
チャリティーバザー
12:00～

- 場 所：【日田会場】パトリア日田(小ホール)
【大山会場】大山文化センター
- 時 間：13:00～16:00
(開場12:30～・バザー12:00～)
- 入場券：300円(抽選券付) ※全額が募金になります
(入場券の購入は事務局までお問合せ下さい)
- 内 容：チャリティーショー・チャリティーバザー

主催：日田市共同募金委員会・日田市社会福祉協議会
歳末たすけあいチャリティーショー実行委員会

【事務局】 日田市社会福祉協議会

●日田会場 本 所 Tel.24-7026

●大山会場 天瀬支所 Tel.57-3157

寄付のお礼

日田市社会福祉協議会に次の方々からご寄付をいただきました。ご芳情に対し、厚くお礼申し上げます。

この浄財は、社会福祉事業を推進するために、有意義に活用させていただきます。なお、市社会福祉協議会へのご寄付は、所得税の控除対象となります。

敬称略 *ご本人の承諾を得て、金額、氏名等を掲載いたしております。

▼香典返し（9月1日～10月31日）

日田本所受付分

- 3万円 河津 宅治 亡妻 スミヨ (天瀬町出口)
- 10万円 大倉 泰弘 亡父 孝生 (高瀬本)
- 3万円 池尻 洋子 亡夫 宏明 (田島)
- 5万円 小野 泰洋 亡義母 石井ヒロ子 (下井手)
- 3万円 大塚 順紀 亡父 順市 (三本松一)
- 一 一市民
- 一 佐藤 昭代 亡夫 文敏 (中ノ島)
- 2万円 木下 信子 亡夫 利唯 (一)
- 10万円 岡崎 浩晴 亡母 ツジ子 (清水)
- 一 小林 康二 亡父 政介 (中城)
- 5万円 畑 富江 亡夫 幸男 (玉川)
- 一 一市民
- 3万円 藤原 初子 亡夫 秋太 (城二)
- 3万円 森本 保夫 亡母 ユミ (諸留)
- 一 一市民
- 5万円 大東 孝雄 亡母 清子 (福岡県福岡市)

前津江支所受付分

- 3万円 佐藤 光信 亡母 キヌエ (柚木)

中津江支所受付分

- 1万円 松岡 齊 亡母 川津タケ子 (埼玉県戸田市)
- 3万円 川上 志郎 亡妻 アヤ子 (合瀬)

上津江支所受付分

- 2万円 嶋崎ツヤ子 亡夫 隅太 (川原)
- 1万円 梶原 昭彦 亡母 信子 (別府市)

大山支所受付分

- 一 岡部 隆臣 亡父 熊友 (西大山)
- 一 矢野 良己 亡母 チエ子 (西大山)
- 5万円 三笥 明 亡父 太市郎 (西大山)
- 5万円 川邊 武士 亡妻 雪代 (西大山)
- 3万円 森 明 亡母 ミサヲ (西大山)

天瀬支所受付分

- 一 戸田 正昭 亡母 ハルヨ (馬原)
- 一 湯浅 善次 亡妻 シゲコ (五馬市)

▼一般寄付等（9月1日～10月31日）

日田本所受付分

- 5万円 二豊街商 日田支店 社会福祉事業へ (一)
- 1万円 日田ハートクラブ 社会福祉事業へ (一)

災害ボランティアセンターへの支援

- 342,525円 鹿児島県市町村社会福祉協議会連絡協議会 役職員一同 (鹿児島県鹿児島市)
- 10,669円 あやめ台まつり実行委員会 (あやめ台)
- 1万円、タオル 中央地区民生委員児童委員協議会 (福岡県大野城市)
- 10,010円 (株)豊田中央研究所 アマチュア無線部 (愛知県長久手市)
- 5万円 酪農学園大学獣医学科20期有志 (福岡県東峰村)



●日田理容師会
タオル335枚を社会福祉事業へ寄付いただきました。

—お詫び— 社協だより9月15日号発行75号の香典返しお礼のページで、二宮加奈子様(大分市)の表示に誤りがありましたので、訂正しお詫びいたします。
(誤)亡母 琴枝 (正)亡母 梶原琴枝



掲 示 板

弁護士による無料相談事業

日 程	時 間	場 所
12/7(木) (受付11/27(月)8:30~)	13:00~17:00 定員8名(先着順)	日田市総合保健福祉センター
1/12(木) (受付12/25(月)8:30~)	13:00~17:00 定員8名(先着順)	日田市総合保健福祉センター

※事前に予約が必要です。

心配ごと一般相談

日 程	時 間	場 所
毎週木曜日	9:30~11:30	日田市総合保健福祉センター
毎月第3水曜日	10:00~12:00	天瀬総合福祉センター
毎月第3木曜日	14:00~16:00	大山総合福祉センター